

豊平地区 学校配置検討委員会ニュース

発行
2024年5月

豊平地区では、旭小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より「学校配置検討委員会」（以下、「検討委員会」といいます。）を設置し、検討を進めております。

この度、令和6年3月12日に第5回学校配置検討委員会を開催いたしました。協議内容につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html>

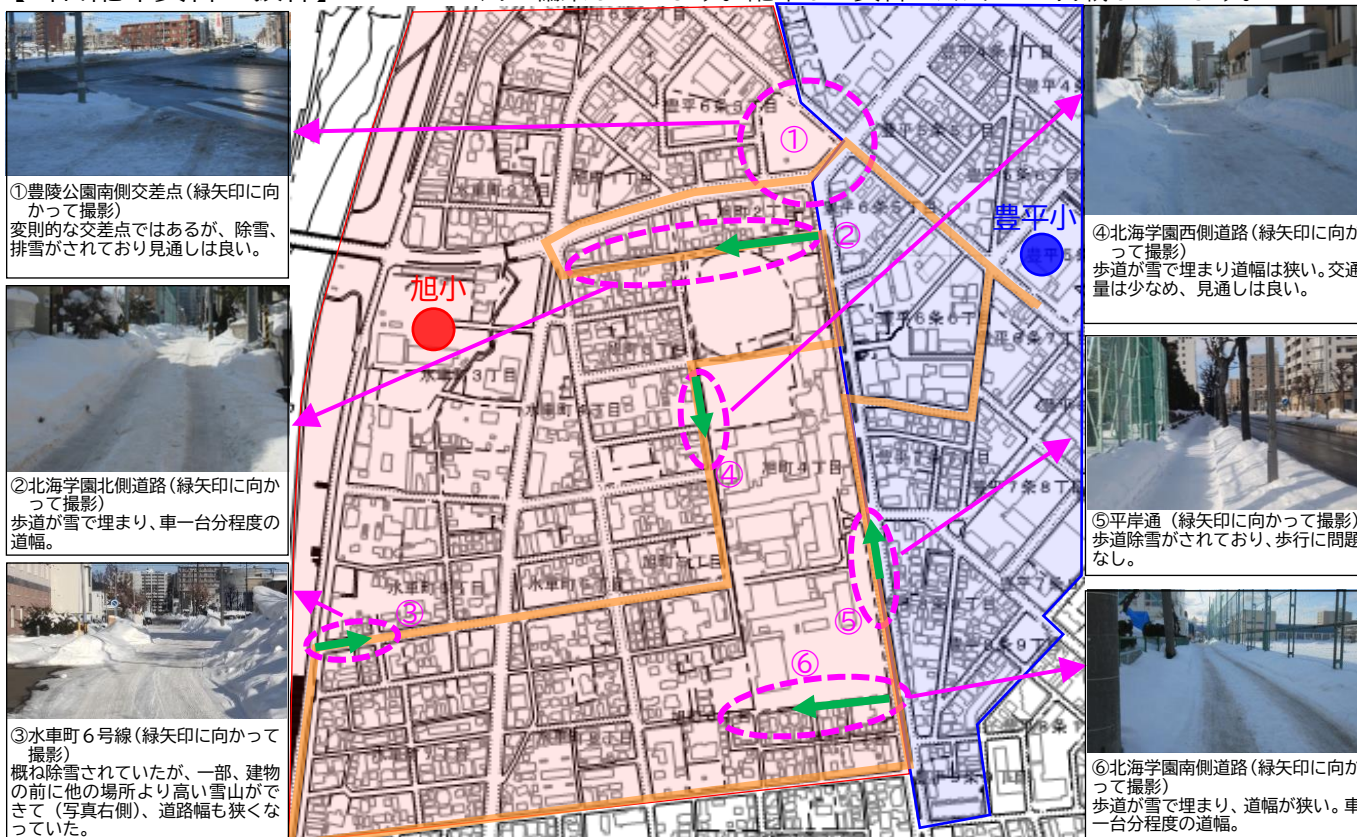
※第4回検討委員会の後、計2件のご意見等が寄せられました。第5回検討委員会の資料として検討委員会内で共有しております（上記HPで公開）。内容に応じた協議の中で参考とさせていただきます。



協議事項 1 令和6年2月29日に実施した現地調査の振り返り

※第4回検討委員会で提案があった現地調査を令和6年2月29日に実施し、その振り返りを行いました。

【当日配布資料3抜粋】※ニュース用に編集しています。配布した資料は公式HPに掲載しています。



意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

現地調査を踏まえた通学区域の危険個所と今後の課題について

- 豊平小校区と比べて、旭小校区は歩道が狭い道が多い印象だった。低学年の子どもも歩くことを意識して通学路や歩道拡幅、横断歩道の設置などしっかり考えていく必要がある。
- このあたりは再開発で整備した道路ではなく、個人の所有地を市に寄附して作った道路が多い。狭いにも経緯はある。通学路とするなら、工夫して安全確保する方向で考えてはどうか。

協議事項2 横断歩道・歩道拡幅についての協議経過報告

- ※横断歩道設置について豊平警察署に相談した結果を報告するとともに、児童の通学における課題を協議しました。なお、歩道拡幅については次回以降も検討を継続することとしました。
- 道幅が狭い②や④の拡幅には沿線に住んでいる方々の土地が必要だが、札幌市はこの路線の整備を寄附によることとしていると以前聞いており、拡幅は厳しいと思う。
 - もし道路の拡幅ができなければ横断歩道の設置も難しくなるのではないか。
 - 横断歩道設置ができなかった場合、ソフト面で安全対策を充実させたらどうかという話があったが、人員を確保するのは難しい。
 - 豊陵公園の変形交差点について、新たな横断歩道の設置は難しいというのは分かったが、この交差点はスピードが出ている車が多い。どうにか安全対策できないか今後も考えたい。
 - 豊陵公園の信号機を矢印式にできないか。スクールゾーン実行委員会でも要望しているし、町内会からも10年くらい前から要望しているが変わらない。
 - 豊陵公園の信号機を歩車分離式にできないか。

⇒【教育委員会】

- ・ 豊平警察署でも現地を確認して親身になって相談に乗ってくれています。今後も、議論の進捗に合わせて随時相談してくださいとおっしゃっていました。
- ・ 教育委員会でも、今後も皆様のご要望や心配事を豊平警察署にお伝えし、安全対策について継続して相談していきます。

協議事項3 意見書の事例と検討委員会で協議すべきことについての整理

※検討委員会で取りまとめる「意見書」について、過去の事例や一般的な内容を記載した素案を基に、検討の方向性などについて協議を行いました。

複合化について

- 学校の改築に合わせて、まちづくりセンターなどを複合化するというのは必須なのか。既存の施設が無くなるということで地域への影響が出てくるのではないか。
- 複合化するメリットについて、どんなものがあるか教えてほしい。
- 複合化することで、学校関係者以外の人たちの出入りが多くなるのは、防犯面から心配。同じ出入り口を利用して、校舎内にも入れるようになるのか。

⇒【教育委員会】

- ・札幌市では、小学校の改築の際には、まちづくりセンターや児童会館等の複合化を検討する方針としています。ただし具体的には、学校として必要な敷地面積の確保など、個別の条件を踏まえて検討します。
- ・例えば、学校と児童会館が併設されていると、保護者としても安心だと思います。また、まちづくりセンターや地域コミュニティ施設の機能もあると、地域と学校のつながりを深めていくことができるメリットがあります。
- ・複合化した各施設の入口や管理は基本別々で、図書室など一部のスペースについては共用を想定していますが、その場合でも、共用スペース以外には入らないよう、区別して利用することになります。
- ・複合化することで想定される課題などについても、この検討委員会の場でご意見を頂き、必要に応じて担当部署からの説明なども踏まえて協議頂きたいと考えています。

新しい学校に関する要望や意見書作成に向けて

- 人口減少の時代であっても、安全確保の観点から、新しい学校はライフラインがしっかりした、避難所としての機能を向上させたものにするべきだと思う。
- 能登半島地震を見て、冬に被災した場合を想定し、防寒対策を万全にすべきだと感じた。1階は床暖房にしてフロア全てを避難所、2階以上を校舎とし、防災センター機能を持たせて備蓄品を保管できるようなモデル校とするのが理想。
- 学校なので児童が学習できる場というのが第一だが、避難所など、他の機能があるならば充実させるべき。ただし、グラウンドを狭くしてでもやることなのかということは、検討委員会内でもしっかり議論すべきだと思う。
- 統合するから仲良くではなく、地域として仲良くするという意識を持つのが大事。事前の両校の交流というのは本当に大切で、それはより良い学校の基盤づくりにつながる。

- 吸収合併ということではなく、学校を新設するという発想で意見書を整理すべき。
- 地区会館や児童会館を複合化するならば車で来る人が多くなる。駐車場は広くして欲しい。

⇒【教育委員会】

- ・検討委員会での皆様のご意見を踏まえて、教育委員会で意見書のたたき台を作成しますので、次回以降は意見書の内容について具体的に協議していきたいと考えております。

【協議結果】

- ◆教育委員会が作成する意見書案を基に、意見書の内容について協議する。

新委員の紹介（敬称略）

所属団体	前委員	新委員
札幌市豊平小学校PTA	関谷 裕美	→ 羽部 良史

次回の検討委員会について

- ▶会議名 第6回 豊平地区 学校配置検討委員会
- ▶開催日時 2024年(令和6年)6月18日火曜日 16時00分～17時30分
- ▶開催場所 豊平会館（豊平区豊平6条7丁目1-12）

※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせします。また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回（第6回）検討委員会の議題（予定）

- ▶第5回検討委員会の振り返り
- ▶地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
- ▶道路拡幅に係わる状況報告
- ▶意見書作成に向けた検討
- ▶その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

豊平地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課（学校配置マネジメント担当）
- ▶電話：011-211-3836 FAX：011-211-3837
- ▶e-mail：gakkokibo@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html>

学校規模適正化 豊平

検索



さっぽろ市
02-S01-24-1059
R6-2-794

SAPPORO